

## 平成 27 年度 事務事業評価シート

## 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	03	02	03	0402	地域子育て支援センター事業
総合計画	分野	人づくり			
	政策	3-1	子育て環境の充実		
	施策	1	子育て支援の充実		
目的	子育て中の親子の交流促進や親の不安感等を緩和する。また、地域の子育て支援活動団体等と情報交換や連携を図る。				
対象	おおむね就学前の児童を有する子育て家庭				
意図	子育て家庭の負担の軽減や不安感、孤独感の解消を図る。また、地域全体で子育てを支援する情報ネットワークの推進を図る。				
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること				
○地域子育て支援センター事業	公立分：3カ所（こどもセンター、宮野目保育園内、大迫保育園内）				
	・親子が気軽に集えるひろばを開設し、親子の交流促進、子育て相談を実施				
	・子育てに関する講習会や情報発信を行う				
○地域子育て支援情報ネットワーク事業《新規》	・地域の子育て支援活動団体や関係者の交流会（情報交換、研修等）				
	・応援型子育て支援事業（子育てサークル活動や地域の子育てボランティア等が開催する「こどもひろば」に、こどもセンタースタッフを派遣、おもちゃの貸し出しなどの地域支援）				
市民参画の有無	〔 無 〕				
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
	後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 支援センター利用者数	人	計画	17,000	16,000	
		実績	17,156	18,445	
② 地域子育て支援情報ネットワーク交流会（情報交換・研修等）の開催	回	計画		2	
		実績		3	
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 育児相談件数	人	目標	3,530	4,500	
		実績	4,611	4,586	
② 地域子育て支援情報ネットワーク交流会の参加延べ人数	人	目標		100	
		実績		177	
③		目標			
		実績			
成果指標の達成度	○	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)										
・センターの利用延人数は、昨年度比較して増加した。冬期間の利用が比較的前年度より多かつたことから温暖化により外出のし易さも影響したと思われる。また、関係機関との連携などにより周知、啓発が行われることで利用の増加につながっている。										
・地域の子育て支援活動団体や子育て支援関係者等の情報交換、研修等の場で、参加者同士の交流や子育て、子育て支援に関する情報や知識など共通理解につながった。										
目的妥当性	公共関与の妥当性		乳幼児家庭の子育て支援については、親子の心身の健全な育ち・虐待防止の点からも重要な事業であり、国の子育て支援拠点事業実施要綱においても、市町村が主となって実施することとなっている。							
	<input checked="" type="radio"/> 妥当である									
	<input type="radio"/> 見直し余地がある									
有効性	成果の向上余地		出生数の減少、核家族化、地域との関わりが薄くなっている育児環境において、センターを活用することは、子育ての孤立化を防ぎ、育児の不安の緩和や不安の解消に役立つ。							
	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある									
	<input type="radio"/> 向上余地がない									
効率性	事業費・人件費の削減余地		事業費の約85%は人件費である。正職員3名、非常勤3名、臨時補助員5名で3施設・年間約340日を対応しており、人員及び予算の削減は難しい。							
	<input type="radio"/> 事業費の削減余地がある									
	<input type="radio"/> 人件費の削減余地がある									
公平性	<input type="radio"/> どちらも削減余地がない									
	受益と負担の適正化余地		市内全域に対応した事業であり、受益機会は均等である。また子育てや子育て支援の重要性から鑑み、誰でもが気軽に訪れる施設とするため、無料で利用できる意義は大であり、費用負担は望ましくない。							
	<input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある									
総合評価 …上記評価結果の総括										
利用する親子の相互の交流を促すことや、スタッフとの信頼関係が築かれていくことで、子育ての孤立化を防ぎ、子育ての不安、悩みなどが話せる場となっている。このような早期の対応で、悩みを一人で抱え込んだり深刻になる前に、緩和、解消につながっている。										
地域で子育て支援活動を行う関係者や子育てボランティア等が、情報交換や研修、講演会に参加する機会を持つことで、子育て中の親や子どもに対する共通理解や地域の中での子育て支援が必要との気持ちの高まりにつながった。										

# 平成 27 年度 事業説明資料

## 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	03	02	03	0402	地域子育て支援センター事業

単位:千円

	26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費	18,057	18,533		476
財 源 内 訳	国・県	12,038	12,354	316
	地方債	1,400	1,500	100
	その他			
	一般財源	4,619	4,679	60

事業期間  単年度繰返  期間限定 [平成 年度 ~ 平成 年度]

部重点施策における目標

子育て支援の充実と子育てしやすい環境づくり

事業開始の背景・経緯

総合的な子育て支援を推進するため、南城保育園に設置されていた「地域子育て支援センター」を移設し、平成19年4月に「こどもセンター」を開設した。平成21年度からは宮野目、大迫の支援センターを分室とし、地域の子育て支援機能の充実を図っている。

事業概要

○地域子育て支援センター事業

公立分: 3カ所 (こどもセンター、宮野目保育園内、大迫保育園内)

- ・親子が気軽に集えるひろばを開設し、親子の交流促進、子育て相談を実施
- ・子育てに関する講習会や情報発信を行う

○地域子育て支援情報ネットワーク事業新規

- ・地域の子育て支援活動団体や関係者の交流会 (情報交換、研修等)
- ・応援型子育て支援事業 (子育てサークル活動や地域の子育てボランティア等が開催する「こどもひろば」に、こどもセンタースタッフを派遣、おもちゃの貸し出しなどの地域支援)

事業を展開する上で課題、留意事項 / 意見・要望等

- ・相談内容が子育てに関することにととまらず多岐に渡ることから、関係部署や関係相談窓口との連携は重要。
- ・地域の子育て支援団体等の情報ネットワーク事業においては、地域での子育て支援活動団体の情報収集や地域のコミュニティー、関係者と連携をとり、積極的な協力関係を築くことが必要である。

担当部署 部名 教育部 課名 こども課 担当係長 藤田昭子 内線 7-213  
(単位:千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文程度にとどめること。】

《事業手法》概略図・次頁			
地域子育て支援拠点 (宮野目、大迫はこどもセンターの分室)			
	こどもセンター	宮野目保育園 地域子育て支援センター	大迫保育園 地域子育て支援センター
開 所 日	月～日 (※祝日・年末年始は除く)	月～金(※同じ)	月～金(※同じ)
開所時間	8:30～17:15	9:00～17:00	9:00～17:00
場 所	まなび学園内	宮野目保育園内	大迫保育園内
職員体制	相談業務: 保健師2、臨時相談員0.7 ひろば: 指導員(非常勤1、臨時2.1) 地域支援、連携業務: 指導員(臨時)	指導員2名 (非常勤1・臨時1)	指導員2名 (非常勤1・臨時1)

【基本事業】地域子育て支援センター事業

- ・各種、子育て講座開催
- ・絵本読み聞かせ  
絵本貸出し
- ・子育て・子育て支援に関する講習  
・子育て・子育て関連情報の提供
- ・定例相談、・隨時相談  
(来所、電話、メール)
- ・子育て中の親子
- ・予約相談(託児可)
- ・分室巡回相談  
保健師、看護師、保育士等
- ・子育てに関する相談・援  
・交流の場の提  
「ひろば」提供
- ・定例ひろばでの親子交流、  
あそびの教室、イベント他

関係機関との連携

【人口減少対策関連事業】

地域子育て支援情報ネットワーク事業の充実

現在、私立と公立の子育て支援センターとの連携や子育てサークルとの情報交換を行っているが、地域の子育て支援活動団体や子育てボランティア等との積極的な情報交換や連携を図り、ネットワークを構築する。それにより、子育て親子への多面的な情報提供や子育てしやすい環境を推進する。

○事業内容

- ・地域の子育て支援団体、関係者の交流会 (情報交換、研修、講演会) 開催 年3回
- ・本事業における、地域子育て支援活動団体等の活動紹介等の作成、配布
- ・地域支援 (おもちゃや絵本の貸出、子育てサークル活動への支援、子育てボランティアの育成、出前ひろばスタッフ派遣など、)
- ・地域に出向き、関係団体等と協同で子育て支援活動を実施 年間16回実施

○地域子育て支援情報ネットワーク事業費分

科目(節名称)	要求額	内訳
7 賃金	185	臨時保育士 07,680円×2日×12月
8 報償費	220	講師謝礼 (講演会、研修会 開催)
11 需用費	80	貸出用おもちゃ購入
12 役務費	15	郵便料
計	500	

地域子育て支援センター事業 事業説明資料